

モータースポーツを満喫する サンデーレース仕様ロードス



トライアル ☎0722-54-7039

軽量ボディと軽快なフットワークでボクらを楽しませてくれるロードスター。コイツを今回、トライアルがサンデーレース仕様にチューニング！ しかも、公認取得車両っていうから見逃せないゾ！！

いまやFRライトウエイトスポーツカーの代表ともいえる存在のロードスター。その軽快なフットワークはドライバーに操る楽しさを存分に味わせてくれて、ワンメイクレースも行われるほど魅力あるモノだよな。

そのロードスターレースに参戦しているトライアルが、レースで得たノウハウを生かし、エンジンから足回り、ブレーキ系までトータルチューニングを施したのが今回のロードスターだ。

チューニングの自由度が広いサンデーレースに参加することを、コンセプトとしたコイツのボディは、ド派手なカラーリングにスポンサー名が、デザインされており、そのチューニングメニューとともに丸ごとレース仕様。しかも、驚いたことに公

認まで取得しているっていうからタダモノじゃないよね！

まず、気になるパワーユニットだけど、ノーマルのB6ジャワインディングの上りやサーキットにおいてはハッキリいってアンダーパワー。そこで、トライアルでは81mmピストンで1720ccまでスケールアップしたB6に、IN/EXともに272°カムシャフトをビルトイン。さらにSKスロットルボディと、HKS・VPCを組み合わせてスポーツインジェクションキットをセットすることで、約160psあたりでパワーアップを図っている。

中でも特に注目したいのがこのスポーツインジェクションキット。まるでレーシングエンジンのように、やや斜めにエアファンネルがセット

され、各シリンダーがストレートにエアを吸い込んでいるコイツは、迫力ある吸排気音を演出。サンデーレース仕様の名に恥じないスパルタンな雰囲気をかもし出しているのだ。

しかし、実際のドライビングフィールに決してピーキーで扱いにくいワケではなく、4,000rpmから7,000rpmまでトルク感溢れる加速をみせ、アクセルワークに敏感に反応してくれるので、ドライバーを選ばず、扱いやすい仕上がりとなっている。

レース仕様ということでかなりハードなセッティングの足回りは、オーリンズ20段ショックに⑩10kg/mm、⑧8kg/mmのスプリングを組み合わせ、コーナリング特性は弱アンダー傾向。ある程度のスピードまではオンザレール感覚で走ることができ、